
教育総合センター だより

NO. 108

平成 20. 5. 1

日々研修技術の向上を目指して

尼崎市立教育総合センター
所 長 平垣 新一



「教育は人なり」と言われるように子どもたちにとって人的環境を整えるのは、子どもたちの「学力向上」を実現するのに重要な課題の一つであると考えています。

本市では、平成16年度から4年間、小・中学生の「学力・生活実態調査」を実施し、子どもたちの「学力向上」を目指しています。

教育総合センターでは、教職員研修事業、視聴覚センター事業及び教育研究と教材開発事業を運営しており、特に「教員の資質向上」は重要な課題であります。

本市においても、ここ数年、定年退職者が多く、それに伴って、新規教員の採用数が増加している状況にあります。若い世代が持っている能力を授業に取り入れていくために、研修方法の開発を進めています。

その成果の一つとして、『若い先生たちにICT活用能力を』～児童生徒の学力向上と教員の授業力をめざした教員研修～」が、この度月刊「視聴覚教育」(平成19年8月号)に取り上げられ、文部科学省・インターネット活用教育実践コンクール実行委員会主催「第8回インタ

ーネット活用教育実践コンクール」において佳作として表彰されました。

研修担当と情報担当が連携し、ICT活用を教員研修の体系の中で経験年数別研修に位置づけ、新任教員を対象にした「ステップ・アップ研修」として教育課題を実践的に学びスキルアップを図ることを目的に実施したものです。

ICT (Information and Communication Technology) とは、「情報通信技術」と訳されています。コンピュータやプロジェクタ - などのさまざまなICT機器を授業に取り入れることで、興味・関心が高まり、理解が深まるなど、教育効果が高まっていることが報告されています。ICT活用は、「授業でわからない子をなくしたい」、「もっといい授業をしたい」、教員なら誰しもが持っているそんな願いをかなえるための大きな助けとなるものと考えています。

当センターでは、今後もマイスター的なベテラン教師のうまい授業を受け継ぐとともに、若い世代の教師の特性を生かすべき、教員のライフステージに合った研修を実施し、質の高い研修実践を求めて努力を積み重ねて参ります。

平成20年度教職員研修・教育研究の方針

学校教育の重要な役割は、児童生徒が社会の変化に対応し、主体的・創造的に生きていくために必要な資質や能力を育成することです。教育総合センターでは、今年度、教職員の指導力向上と意識改革を大きな責務として、次のような研究・研修事業を予定しています。

1 基本研修

校・園長、教頭など職階別、教務・学年主任など職務別研修を実施します。職階・職務別研修では、自主的主体的研修活動を支援するため、研修の選択制を導入しています。

1年目教員研修では、指導主事によるマンツーマン研修を実施します。1年目教員の授業を参観した教員はどなたでも研修に参加できます。2年目、3年目、4年目、20年目など経験年数別研修も、それぞれに応じた課題で研修します。

1年目から4年目教員は、公開授業研修講座を基本研修とします。それぞれから授業する先生を決定します。講座を通して、授業設計力を高めます。また、4年目教員研修で、異校種交流を実施します。この機会により、視野を広げ、異校種の連携を深めていきます。

2 専門研修

児童生徒に基礎・基本を身につけさせ、多様な能力や個性の伸長を図る教育を推進しようとする教員を支援するのが専門研修です。

次の分野別に講座を設けました。

- (1) 教職課題研修講座
- (2) 教育相談研修講座
- (3) 授業力向上研修講座
- (4) 基礎学力向上対策演習講座

教員のライフステージに応じた多様な研修講座を提供します。さらに、基礎学力向上対策に特化した研修プログラムや時代の要請に応じた多様な研修講座を実施します。

また、夏季休業中に社会体験研修講座として、民間企業で経営の実際・企業努力等を体験する民間企業派遣及び肢体不自由児のための通園施設での福祉施設派遣の研修講座を予定しています。

3 特別研修

トワイライト自主研修講座に参加しませんか

教育総合センターでは、出前研修として、小学校コンピュータ特別研修・教育機器活用特別研修、学級経営・授業づくり等でお悩みの先生方の相談や校内研修を支援するため、指導主事を派遣します。

また、トワイライト自主研修講座として夜間（木曜 午後6時から7時30分）の研修機会を提供します。

情報教育や教育事務、学級づくりや授業づくり等、子どもの学びを支援する効果的な実践方法を考え、教育のプロとしての力量を高めるための研修講座を実施します。

4 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、教育総合センター及び教育相談課の職員と協同して実践的な研究を行います。

本年度は次の8部会です。

- ・教育相談
- ・国語科教育
- ・算数・数学科教育
- ・理科教育
- ・英語科教育
- ・小学校情報教育
- ・デジタルコンテンツ活用
- ・生徒指導

（教育総合センター所長 平垣 新一）

平成20年度教育相談課運営の方針

近年、生活環境は大きく変化し、豊かな人間関係や望ましい社会体験が減少する傾向にあり、子どもたちの心や発達にも様々な歪みが生じています。

本市においても、いじめ、不登校、キレる子、しつけや子育て不安、虐待、LD・ADHD等、多岐にわたる相談への対応に努めてまいりました。

また、平成19年度より本格実施されました特別支援教育の推進と充実にむけて、様々な事業に取り組んでおります。

今年度も、教育相談課スタッフ13名は、子どもや家庭、学校への支援の立場で、充実した対応を図っていきたいと考えています。

1 組織及び事業の概要

教育相談課は、面接相談・電話相談を中心とした教育相談担当と就学指導・特別支援学級等、尼崎養護学校を支援する特別支援教育担当の2つの係になりました。

2 事業の内容と運営方針

＜教育相談担当＞

(1) 教育相談事業

面接相談、電話相談、出張相談等により、児童生徒の望ましい発達を支援します。心療内科医による直接相談もあります。

(2) 高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラーを派遣し、教職員の研修や心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談等を実施します。

(3) スクールカウンセラー配置事業

県が、全中学校及び一部の小学校にスクールカウンセラーを配置します。通学区域の小学校も活用できます。

＜特別支援教育担当＞

(1) 介助業務事業

多動性等児童生徒もしくは肢体不自由児童生徒が複数在籍している特別支援学級に生活介助員を配置します。また、肢体不自由児童生徒のプール指導時にも、介助員を配置します。

(2) 看護師等配置事業

日常的に医療行為の必要な児童生徒が

参加する、宿泊校外行事に看護師を配置します。

(3) スクールバス運転業務事業

尼崎養護学校児童生徒の通学時の安全確保に、スクールバス4台で運転業務を行います。

(4) 就学指導事業

尼崎市障害児就学指導委員会を設置し、障害のある児童生徒の義務教育諸学校への適正な就学のため調査審議します。

(5) 合同宿泊訓練推進事業

特別支援学級在籍の児童生徒が、夏季休業中、小・中学校の校種別に合同で1泊2日の宿泊訓練を行います。

(6) 心の教育特別支援員配置事業

心の教育特別支援員20名を配置し、LD・ADHD等の子どもへの指導や学習活動学級経営を支援します。

(7) 心の教育ボランティア配置事業

心の教育ボランティアを配置し、LD・ADHD等の子どもへの行動面での支援、学級経営等についての援助をします。

3 教育相談の現場から

平成19年度の相談件数及び活動内容は、概ね次のような状況になっています。

(1) 面接相談(延べ)	2611 件
電話相談	982 件

(2) 出張相談	
子どもや教師対象	132 件
子育て研修会等講話	24 件

(3) 面接相談内容	
精神情緒(不登校等)	34.4%
性格行動(友人、親子関係等)	57.6%
身体言語(発達遅滞等)	1.5%
学業進路(進路等)	5.7%
その他(教師の相談等)	0.8%

(4) 特別支援教育	
巡回相談	28 回(小 14 回,中 14 回)
就学指導	151 件
介助員派遣	小学校 22 校延べ 56 人 中学校 4 校延べ 11 人

(教育相談課長 井上 晴夫)

教育相談課・教育総合センター 組織・事務分掌表

平成20年 4月 1日現在

学校教育部長 徳田 耕造

学務課

学校教育課

学力向上担当

教育相談課長

井上 晴夫

教育相談担当

教育相談(面接、出張) 高等学校カウンセラー派遣事業
心療内科医による直接相談 電話相談
スクールカウンセラー配置事業
教育相談に関する調査・研究・研修

係長

西本 由美

教育相談担当の統括

指導主事

荒木 伸子

教育相談、高等学校カウンセラー派遣事業、スクールカウンセラー配置事業

嘱託員

岡本 敦

教育相談、調査研究

嘱託員

田中 優喜

教育相談、調査研究

嘱託員

太田 有希

教育相談、調査研究

嘱託員

立花 直子

教育相談、調査研究

嘱託員

清水 陽三

電話相談

嘱託員

奥田 佐恵

電話相談

特別支援教育担当

幼・小・中学校での特別支援教育の指導助言
介助業務事業 看護師等配置事業
スクールバス運転業務事業 就学指導事業
合同宿泊訓練推進事業 心の教育特別支援員配置事業
心の教育ボランティア配置事業

係長

是枝 周二

特別支援教育担当の統括

指導主事

今泉 和子

幼稚園・小学校担当、看護師等配置業務、特別支援教育各研究協議会等

指導主事

小寺 英樹

中学校・特別支援学校担当、介助業務、就学指導委員会等

庶務担当

教育相談に係る庶務
特別支援教育に係る庶務

主任

山崎 明美

課の文書管理、予算の管理・調整
要求及び決算業務、課事業に係る支出業務

学校保健課

教育総合センター所長

平垣 新一

研修担当

教職員研修 教育に関する調査・研究・教材開発
教育総合センターの運営・計画調整 予算・管理 庶務 文書管理
教育情報収集・整理・提供 情報誌の発行 教科書センターの管理

係長

福田 肇

研修担当の統括、校・園長研修、特別研修、教育総合センターの運営・計画調整、予算・管理、文書管理

指導主事

鈴木 美臣

教頭、2年目教頭派遣、学校マネジメント、新任校長、新任教頭、異校種交流、一般教養、社会体験、生徒指導、算数・数学科、英語科、学力向上対策、公開授業(2年目教員)

指導主事

藤本 吉将

管理職人権、研究主任、ステップ・アップ、1年目教員、4年目教員、管外転入教員、人権、カウンセリング基礎、学級経営、国語科、技術・家庭科、食育、公開授業(1年目教員)

指導主事

小原 誠

学年経営、学校安全推進、1～4年目養護教諭、20年目教員、不登校児童生徒支援、特別支援、キャリア教育、社会科、理科、生活科、音楽科、図工・美術科、総合的学習、公開授業(4年目教員)

指導主事

重信 親秀

教務主任、1年目教員、2年目教員、3年目教員、一般教養、教育法規、道徳、国際理解、福祉、環境、幼児、体育科、小学校外国語活動、図書館、公開授業(3年目教員)

主任

高橋 正広

予算・決算、複合施設の維持管理、庶務

嘱託員

倉田 利彦

情報誌の発行、学級経営相談、生涯学習施設連絡会議

嘱託員

幾田みよき

資料の収集・整理・提供、教科書センターの管理

臨時職員

森 多美子

管理業務事務補助

情報教育担当

教職員研修 情報教育に関する調査・研究・教材開発 ICT活用・ネットワークシステム活用 複合施設の維持管理 視聴覚センターの運営・計画調整

係長

米田 浩

情報教育担当の統括、研修管理、視聴覚センターの運営・計画調整、情報モラル・セキュリティ、個別ドリルシステム

指導主事

藤井健三郎

AMA-NET の管理(ネットワーク、メール、ノート等)、教育用PCシステム管理、情報管理・データベース、中・高情報活用、新任管理職PC、初任者対応(中)

指導主事

上原 郁雄

情報教育の推進(幼・中)、学習用PC(中)、初任者対応(中)、事務の合理化、統計処理、ホームページ管理

平成20年 4月 1日付 人事異動

〔転入者等〕(前任)

特別支援教育担当係長：是枝 周二 (特別支援教育担当指導主事)
 特別支援教育担当指導主事：今泉 和子 (武庫北小学校教諭)
 庶務担当主任：山崎 明美 (中央図書館主任)
 教育総合センター所長：平垣 新一 (学校教育課部長)
 研修担当係長：福田 肇 (学校教育課指導主事)
 研修担当指導主事：小原 誠 (武庫東小学校教諭)
 研修担当指導主事：重信 親秀 (尼崎北小学校教諭)
 臨時職員：森 多美子 (公園水路維持担当)

〔退職者〕

嘱託員(教育相談課)：武田 静栄
 嘱託員(教育相談課)：山本 順子
 臨時職員(教育総合センター)：石田 智子

〔転出者〕(転出先)

特別支援教育担当係長：横井 哲男 (尼崎養護学校教頭)
 庶務担当主任：朝田 淳子 (学校保健課主任)
 教育総合センター所長：神田 光 (尼崎高等学校長)
 研修担当係長：谷口 陽三 (明城小学校教頭)
 研修担当指導主事：中嶋 修一 (金楽寺小学校教頭)
 研修担当指導主事：加藤 英仁 (学校教育課指導主事)

開館時間ご案内

平日 午前9時 ~ 午後9時

(ただし、教育相談および視聴覚ライブラリーは午後5時15分までとします)

なお、次の日は取り扱いいたしません。【土曜日・日曜日・祝日・年末年始】

発行 尼崎市立教育総合センター

尼崎市三反田町1丁目1番1号 (TEL. 06-6423-3400)

発行者 平垣 新一

題字 尼崎市教育委員 岡本 元興